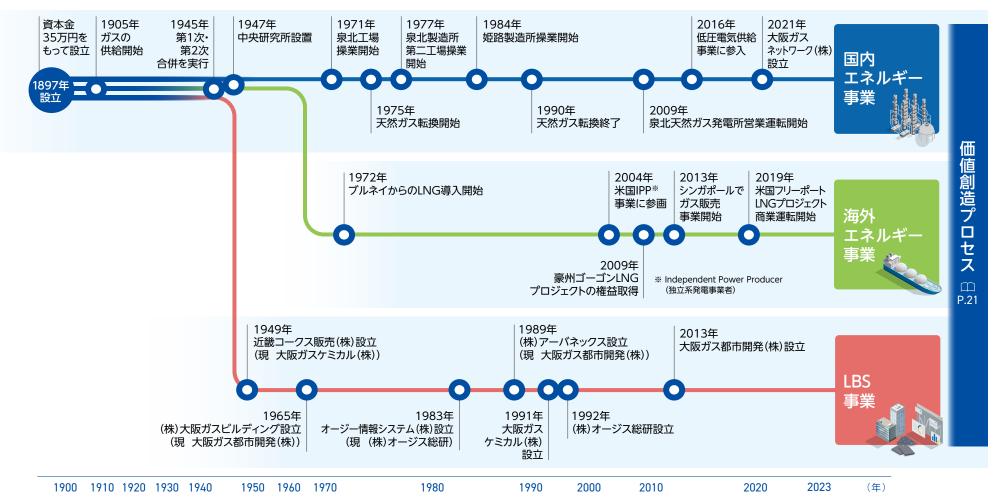
# 価値共創のあゆみ

Daigasグループは1905(明治38)年にガスの供給を開始しました。それから110余年、ガス燈を灯すことから始まったガス事業は、社会や環境変化のなかで幾多の困難にぶつかりながらも、調理、暖房、給湯、発電まで用途を広げてきました。また、エネルギー事業で培ったお客さまや地域とのつながりを源泉に、事業領域を拡大し、多様な商品・サービス・ソリューションを提供する企業グループに発展してきました。

### グループ事業における成長の歴史



7

Daigasグループ 統合報告書 2023

カーボン

ラルへの挑戦

### エネルギー事業におけるイノベーションの歴史





産業用(ガスバーナー)

給湯(給湯暖房) 床暖房 浴室乾燥機

暖房(ガスストーブ、ファンヒーター)

コージェネレーション・燃料電池 産業用(ボイラ・工業炉)

家庭用・業務用

都市ガス用途開発

ガス燈

調理(ガスかまど) 調理(レンジ)

調理(炊飯器、グリル付きコンロ)

天然ガス

都市ガス原料の低炭素化

石炭系

石油系

(厨房・暖房・給湯)

電力事業・海外エネルギー事業

電源開発

1900

1910

1920

1930 1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000 2010

2020

2023 (年)

### 社会的背景とグループの取り組み

### ■社会課題・ニーズ

### 地域の 安全性 向上

### 石油ランプからガス燈へ

当時、しばしば火事の原因 となった石油ランプや高価 な電灯が普及しており、都 市部での社会課題でした。

### ガスによって変わる生活 ライフ

スタイル

の変化

様々な生活様式や人々の 慣習も変化しつつあり、女 性の社会進出も始まりま した。

### エネルギー 需要の 増加

8

# 人口増加・戦後復興

エネルギー需要の増加や急 激な都市化への対応が必要 となりました。

### 天然ガス転換は膨大な先行 投資を伴う長期プロジェク トでしたが、供給安定性向上 や環境負荷軽減等が図られ

ました。

### 持続可能な 社会の

実現

SDGs採択、パリ協定発効、 TCFD提言発表等、全世界 が取り組むべき喫緊の課題 として挙げられています。

環境への関心の高まり

### ガス供給 開始

### ガス燈の普及に努める

会社設立理由に市民への 安全で低廉なガスの供給 を掲げ、ガス燈の普及に努 めました。

### 新しい 暮らし の提案

ご家庭の厨房へのガス普 及は従来の竈調理におけ る家事の負担を大幅に軽 減させました。

## LNGの 導入

先進的な 商品の 開発

省エネルギー・CO。削減に 貢献する先進的な機器・シ ステム開発を行い、お客さ まとともに低・脱炭素化に 努めます。

### ■Daigasグループの価値共創

Daigasグループ 統合報告書 2023